

# 文化財探訪 ふるさと発見のみち

## 西コース 片道約4.6Km



①用草から根古谷に続く桜並木を進むと、谷津田に育まれた、旧き良きどこか懐かしさを感じさせる田園風景が待っている。

③寛文2(1662)年に社殿を改修した記録が残り、それ以前の創建と見られる。かつては「自在天堂」と呼ばれ郷中地区に所在したものを村民が担いで今の地に遷したといわれる。当時の建物は、今も拝殿の西側に残されている。



所在地:根古谷1065

⑥平賀本土寺から布教のために塩古の郷を訪れていた日蓮上人が、以前から病に伏せていた根古城主の子息を7日間の祈祷と妙符により完治させたことで、城主はおおいに感謝し、日蓮上人の「生御影」を安置して法宣寺を創建したといわれる。



所在地:根古谷827-2

① 桜並木

→  
1.5Km  
20分

② 齋藤考谷翁壽蔵碑

→  
0.2Km  
2分

③ 皇産霊神社

→  
1.5Km  
20分

④ 根古谷城跡・天神社

→  
0.1Km  
1分

⑤ 寝釈迦

→  
0.5Km  
5分

⑥ 法宣寺

→  
0.5Km  
5分

⑦ 岡田の神社集落

→  
0.3Km  
3分

⑧ 岡田馬頭観世音堂

②齋藤考谷は文政10(1827)年用草に生まれ、嘉永の頃から自宅敷地内に小舎を設けて私塾を開き、自ら子弟の教育に当たった。ここに学んだ子弟は、周辺の村に限らず遠くは木原・大木方面からも集まり、総数では300人を越えた。



所在地:用草791

④根古谷城の築造年代は不明であるが、千葉氏家臣の円城寺氏によって築城されたものと推定される。康正元(1455)年、千葉本家の滅亡によって円城寺氏も滅び、粟飯原氏が城主となったとみられる。その後の詳細は不明であるが、天正18(1590)年、小田原北条氏の滅亡とともに廃城となった。



所在地:根古谷661 他

⑦この神社集落には八社が祀られている。江戸時代までは村内の各所に祀られていたが、明治元年の神仏分離令の結果、この場に集められたといわれる。老杉の根が崖を走り自然の階段を作っている。



所在地:岡田147

⑤根古谷城の麓から「法宣寺」の杜を望むと、まるでお釈迦様が寝ているように見えることから、地元では「寝釈迦」とよばれている。



⑧昔一頭の白馬が岡田の地で倒れ死んでから、様々な厄災が降りかかっていたところ、文永元(1264)年に日蓮上人が白馬の倒れた場所に観音像を据えて題目を唱え、冥福を祈ると、たたりがおさまったといわれる。その後、法宣寺二世日税上人の時に、お堂を建て、観音像を安置している。



所在地:岡田120



岡田

スポーツプラザP  
クリーンセンター

八街キャンプ場

希望ヶ丘

岡田馬頭観世音堂  
岡田の神社集落

岡田ふれあいバス(中)

用草

斎藤考合翁寿蔵碑

法宣寺

根古谷の湧水

根古谷城跡

真福寺

皇産霊神社

天神社

用草公民館

勢田

根古谷



馬頭観世音菩薩像